

# マオウ (麻黄)



## 語源

マオウ属の *Ephedra* は、マオウの外見がトクサ科のトクサ (*Equisetum hyemale*) に似ているため、ギリシャ語で「トクサ」を指す「エフェドラー」から来ている。成分のエフェドリンはマオウ属 *Ephedra* に由来する。

麻黄の「麻」は、マオウを食べると舌を麻痺させることが由来で、「黄」はマオウが黄緑色のため。

## 基原

*Ephedra sinica* シナマオウ (支那麻黄)  
*Ephedra intermedia* アイマオウ (合麻黄)  
*Ephedra equisetina* キダチマオウ (木立麻黄)  
 マオウ科 常緑小低木

## 薬用部分

地上茎

## 産地

*Ephedra sinica* シナマオウ  
 遼寧、河北、河南、山西、陝西、内蒙古などの乾燥高地に自生  
*Ephedra intermedia* アイマオウ  
 甘肅、新疆、青海、内蒙古などの砂地に自生  
*Ephedra equisetina* キダチマオウ  
 河北、山西、陝西、内蒙古、甘肅、新疆、四川西部などの乾燥山地に自生



## 主な成分

(-)-エフェドリン  
 (+)-プソイドエフェドリン

## 主な薬効

発汗解熱、鎮咳、去痰薬として風邪の解熱薬、百日咳、喘息に用いる。神経痛、関節痛、リウマチ、関節の腫れ、利尿にも用いる。

## 代表的処方

漢方処方用薬であり、鎮咳去痰薬、気管支拡張薬、鼻炎用薬、解熱鎮痛消炎薬とみなされる処方に配合されている。

## 【麻黄湯】

マオウトウ  
 体力充実して、かぜのひきはじめて、さむけがして発熱、頭痛があり、せきが出て体のふしづしが痛く汗が出ていないものの次の諸症： 感冒、鼻かぜ、気管支炎、鼻づまり  
 (処方内容) 麻黄/桂皮/杏仁/甘草

## 【葛根湯】

カッコントウ  
 体力中等度以上のものの次の諸症： 感冒の初期(汗をかいていないもの)、鼻かぜ、鼻炎、頭痛、肩こり、筋肉痛、手や肩の痛み  
 (処方内容) 葛根/麻黄/大棗/桂皮/芍薬/甘草/生姜

## 文献報告

### 【抗炎症】

Ephedrannin A and B from roots of *Ephedra sinica* inhibit lipopolysaccharide-induced inflammatory mediators by suppressing nuclear factor- $\kappa$ B activation in RAW 264.7 macrophages

Int. Immunopharmacol, 2010, 10, 1616-25

### 【肝保護】

Mao (*Ephedra sinica* Stapf) protects against D-galactosamine and lipopolysaccharide-induced hepatic failure

Cytokine, 2008, 41, 293-301

※参考文献：「日本薬局方」「生薬単」「和漢薬の事典」「日本薬草全書」「一般用漢方製剤承認基準」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力  
**福田龍株式会社**

(お問い合わせ) 〒530-0047 大阪市北区西天満1-5-11  
 TEL: 06-6364-5861 FAX: 06-6364-6562  
 URL: www.fukudaryu.co.jp